

2021年度より 初期臨床研修プログラム 「総合診療・地域医療重点プログラム」 が導入されます！

来年度(2021年度)より、地域医療・総合診療に重点を置いた初期研修プログラムが導入されます。将来的に、総合診療専門医など、ジェネラリストとして地域で活躍する医師へ成長するための、初期研修プログラムです。総合診療科・救急科では、急性期医療や入院管理、Common disease(日常的に高頻度で遭遇する疾患)、心理社会的な複雑困難症例、診断困難症例、小規模病院・診療所では、地域医療として慢性疾患に対する継続診療、訪問診療などを担います。東北で唯一の初期研修から専門研修まで総合診療専門医になるまでのシームレスな環境です。地域医療・総合診療について一緒に学びましょう！

◆ローテーション例 (募集定員2名/年)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	導入	総合診療科				救急科			地域	外科		産婦人科
2年	小児科	精神科	地域	救急科		総合診療科			地域医療(小規模事業所)			

オンライン説明会も行っております！

1度目は8/26(金)に、2度目は9/18(金)に後期研修プログラム(みちのく総合診療専門研修プログラム)と合同でオンライン説明会を行いました。

これまで、東北大、東北大、東北医科薬科大、北海道大、弘前大、秋田大、岩手医科大、山形大、杏林大、大阪大、琉球大など、全国各地から16名の医学生の方が参加してくださいました。

総合診療・地域医療重点プログラムを責任者の佐々木隆徳医師より、みちのく総合診療専門研修プログラムを菅野耀介医師に説明していただきました。

参加者の皆さんからいただいたアンケート結果では、「募集定員が少ないことで指導の手厚さを感じた」「プログラムが充実していて先生方にも魅力を感じました」など、総合診療・地域医療重点プログラムと、みちのく総合診療専門研修プログラムへの興味の深さを感じる意見を多数いただきました。ご興味のある方や、見学をご希望の方は、坂総合病院医学生担当までお問合せ下さい。



坂坂で読んでみたい記事はございませんか？
医師やコミニカルに聞いてみたいこと・病院のこと・勉強方法について
などぜひ、こちらまでご意見をお寄せください^^

次回の坂坂の発行は2月の予定です。

igakusei@miyagi-min.com



坂総合病院HP

「医学生のひろば」より

過去の坂坂をご覧になれます。



研修6か月間を振り返って

はじめまして。坂総合病院の一年目研修医の福嶋勝大と申します。

私は4~7月循環器内科、8~10月消化器内科で研修しました。始めは右も左もわからず覚えることも多く大変でしたが、指導に熱心な先生方のおかげでたくさんことを学び、橈骨動脈穿刺・内頸静脈穿刺といった手技も多く経験できました。

ローテーション3ヶ月目は、各科のcommon disease(日常的に高頻度で遭遇する疾患)へ対応出来るようになり、希少な疾患なども経験することができました。こういった経験は3ヶ月ローテーションならではの良い点だと思います。そして病棟業務に慣れ始めてくると、在宅診療・深夜当直・救急車当番・クリニック内科外来が始まりました。始めは慣れることに精一杯で、不安も多く大変でしたが、2年目の先輩方を参考に少しずつできるようになりました。

当院の研修では、主体的に動く力が求められていると感じています。指導医と共に診療を行います。担当医制であり、診療における基本的な判断は研修医が行います。

したがって、適切なタイミングで指導医に相談したり、研修医では手に負えない場合にきちんと相談する力が求められます。自分にできること・できないことを見極め、できることを増やしていく。医師として必要な能力であり姿勢なのかと感じています。

私は、これまでの研修でショック患者を数例経験しました。初めての対応は、細胞外液をどれぐらいのスピードで入れるべきかも、ノルアドレナリンを何倍希釈でどのスピードで始めるべきかもわからず、一刻を争う事態であり私には指導医に相談することしかできませんでした。その一例を経験した後からは、研修医はどこまでできるべきで、どの段階で指導医を呼ぶのかなど、迅速な対応が必要とされる場合に研修医がどこまで判断し実施すべきかを意識するようになりました。現在、良書とされる医学書はたくさんあり、持ち運ぶこと・検索することも容易となった時代です。急ぐ必要のないことに関しては調べれば概ねいずれ答えが出ます。しかし、調べる暇さえ惜しむような病態であるときに対応できる力を坂総合病院での二年間の研修を通して身に付けていきたいと私は考えています。

これを読んでいる学生のみなさんは現在の状況下で、どのようにお過ごしでしょうか。勉強の息抜きにでも、病院見学し研修医がどのように現場で働いているのかを目にするのも良い経験になるかもしれません。



順天堂大学卒業
研修医1年目
福嶋 勝大医師

研修医会をご紹介します

軟膏の使い分け

東北大学病院皮膚科医師より、「外用療法の基本的な知識」と「皮疹の重症度と外用薬の選択」について学習しました。学生時代に得た知識を復習しつつ、イラストや写真を用いて専門的な分野も学びました。今回は先輩医師や皮膚科外来の看護師も研修医と一緒に講義を受けており、病院全体として理解を深めました。



臨床栄養のオキテ

栄養サポートチームNST委員会の外科医師から、栄養管理の流れと、坂総合病院で採用している経腸栄養剤について学習しました。栄養管理の座学後は実際に成分栄養剤を飲む体験学習のを行い、「こういう味のものを患者は飲んでいるんだ」と患者の立場からも学びを深めていました。経腸栄養剤をチューブに通す実技も行い、細いチューブの通しにくさを改めて実感していました。



エコーの実技

臨床検査技師から、腹部エコーと心エコーの実技について学習しました。まずは座学で超音波検査における注意点を学んだあと、職員や研修医同士が患者役となり、病棟研修で学んだ知識を活かしながら研修に臨んでいました。開始直後は思うようにいかず苦戦していたのですが、技師の丁寧な指導を受け徐々に上達していました。



Instagramはじめました!

説明会の案内や、研修医の様子を随時掲載しています。興味のある方は是非フォローしてください!



SAKAGENERALHP



～研修医会とは?～

初期研修医がスキルアップのため毎週木曜日に開催している学習会。(通称:木曜会)先輩医師だけでなく、テーマ毎に多職種の先輩職員が教えている。研修医が自分の学びたいテーマを直接先輩職員に依頼することも可能で、学びたい分野を学べる時間でもある。



こちらのページでは、昨年度に行った学習テーマを一部ご紹介いたします。

4月

- ・シミュレーション実技指導
- ・先輩職員によるワークショップ
- ・縫合実習

5月

- ・輸液の常識・非常識
- ・薬の処方
- ・在宅カンファ

6月

- ・臨床サポート
- ・当直帯の消化器疾患
- ・腹部エコーFAST

7月

- ・東北大学医学部整形外科講演会
- ・当直帯の泌尿器疾患
- ・当直帯の婦人科疾患

8月

- ・胸痛症状について
- ・当直帯の小児科疾患
- ・当直帯の呼吸器疾患

9月

- ・高血圧について
- ・臨床栄養のオキテ
- ・心エコーの実技

10月

- ・腹部エコー実技
- ・当直帯の脳外科疾患
- ・抗菌薬について

11月

- ・救急診療事始め
- ・糖尿病患者の管理
- ・当直帯の患者疾患

12月

- ・ヒヤリ症例検討会
- ・当直帯の皮膚科疾患
- ・めまい、耳鼻科疾患の救急対応

1月

- ・健診二次の対応
- ・介護保険について
- ・人工呼吸器管理

2月

- ・電解質補正剤の使い方
- ・東北大学消化器内科講演会
- ・歯科口腔外科領域の対応

3月

- ・急性肝不全と肝性脳症
- ・DPCの基礎知識とコーディング
- ・食事指導について

医学生ゼミナールに 参加しました！

9/20(日)～9/22(火)の期間に行われた、「第63回全国医学生ゼミナール in 群馬」に参加しました。

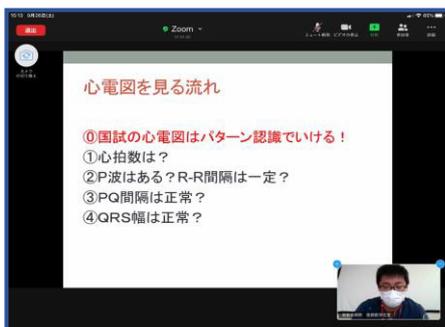
今年の医ゼミは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催予定地であった群馬県ではなく、オンラインでの開催となりました。

今年のテーマは、「知る、想う、共に生きる社会“コロナの中で振り返って考える”」でした。講演会では、東京大学先端科学技術研究センターの児玉龍彦先生による「コロナウイルスの悪循環サイクルを断ち切る、精密医療と膨大PCR検査とスマホ追跡のシステム」、ペシワール会の藤田千代子先生による「アフガニスタンに命の水を 中村哲医師・PMS（平和医療団日本）と共に」と題して、ご講演していただきました。分科会は9つ開かれ、医療、健康、社会など、幅広い分野で様々なテーマがあり、どの分科会にも学生発表としてこれまでの学びが込められており、それに呼応したそれぞれの参加者が集まり、濃厚な学びとなりました。



オンラインサマーミーティングを開催しました！

9/26(土)、ZOOM アプリによるオンラインサマーミーティングを開催致しました。例年は、松島大観荘にて1泊2日で行っている、坂総合病院で初期研修予定の6年生・5年生の顔合わせ企画ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の全国的な流行拡大を受け、Webでの開催となりました。全体を通しての参加者は、医学生が12名（6年生7名、5年生5名）、職員が6名でした。



はじめに、坂総合病院院長の富山陽介院長より、参加学生への激励のお言葉と、医師・社会人としての心構えについてお話しして頂きました。

学習企画では、2年目初期研修医の熊谷優大医師と、1年目初期研修医の寺田英知医師より、国試対策学習として、「心電図の読み方」と題し、参加者にクイズ形式で問題を出しながら、基礎知識や問題を詳しく解説させていただきました。

最後に、宮城民医連県連医学生委員長の佐藤孝洋医師より、総括として医学生の皆さんへ温かいメッセージをいただきました。

参加した方からは、「皆さん話しやすくて入職が楽しみになった。」「国試用の解き方も教えてもらえて良かった。」などの感想をいただきました。冬には、オンラインウインターミーティングを予定しております。是非、多くの医学生の皆さんのご参加をお待ちしております。



2020年夏 病院見学者感想文

今年の夏休みの期間（7～9月）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、縮小・限定しての見学受入れをなりましたが、10名弱の医学生の方に病院見学に来ていただきました。感想の一部を紹介いたします。

救急科 ・救急車が絶え間なく来ていて、救急科の医師だけでなく他の科と連携して対応に当たっているのが印象的でした。断らないがモットーである医療が実行されていると感じました。
・指導医の先生方がとても優しく、指導熱心であることが印象に残りました。こうした環境で救急の研修が出来ることは素晴らしいと思いました。（北海道大5年生）



救急科・総合診療科 合同カンファ ・カンファに参加している看護師やリハスタッフの意見や情報を聞いていたので、社会的背景に合わせた治療が出来ると感じました。医師が主導し、多職種が並行して治療に当たるといチーム医療の理想形だと思いました。（秋田大6年生）



循環器科 ・研修医の先生方や指導医の先生方や優しく、仕事の話からプライベートの話まですることが出来ました。1年目でも、心電図や心エコー、シンチグラフィ検査などの幅広い知識を持っていてすごいなと感じました。（北海道大5年生）

内科外来 ・初診の患者さんに対して、普段どのように筋道を立てて医療面接や身体診察を行っているのか知ることが出来たのが大きな収穫だと思います。（東北大5年生）

全体 ・全体を通して、自分が想像している以上に研修医の先生方がこなす役割や担う責任が大きいと感じました。加えて、坂総合病院の地域における役割などを研修医の先生方はよく理解しているのらっしゃるなどと思い、それだけ病院の理念などが職員に浸透しているのだらうと思いました。（東北医科薬科大4年生）
・病院全体として研修医を育てるという空気を強く感じました。コメディカルの方々も協力して下さっているのを感じ、研修病院としてとても魅力的に感じました。（山形大5年生）

冬・春の病院見学もお待ちしております！HP「医学生 研修医のひろば」で検索
※新型コロナウイルス感染の状況により、見学が出来ない場合もございます。

お知らせ

医学科受験生向け

模擬面接を開催いたします！

毎年恒例、医学科受験生向け模擬面接を今年も開催いたします！志望校に合わせた面接や、現役医学生との相談会も予定しています。宮城民医連のHPで申し込みを行っています。参加費は無料です。希望の方は、HP 又は LINE、お電話にてお申し込み下さい。



申し込みはこちら！



参加者には嬉しいお土産があります！



医学科受験生向け 模擬面接

●医師を目指している受験生のみなさんへ●
試験の先駆けである面接、ぜひとも経験してほしいです。お相手の面接官を前に、本試験と同じような緊張感を持って、練習してみませんか？

第1回
日時：2020年11月4日(水) 18:15集合 18:30開始
場所：TKP仙台西口ビジネスセンター6階カンファレンスルーム6A (仙台駅西口徒歩5分) 第1回の開催日は11月4日です。

第2回
日時：2020年11月7日(土) 9:15集合 9:30開始
場所：TKP仙台西口ビジネスセンター6階カンファレンスルーム6A (仙台駅西口徒歩5分) 第2回の開催日は11月7日です。

第3回
日時：2021年1月30日(土) 17:15集合 17:30開始
場所：TKP仙台西口ビジネスセンター6階カンファレンスルーム6A (仙台駅西口徒歩5分) 第3回の開催日は1月30日です。

●参加して下さい方には、素敵なお土産をご用意しております！●

スケジュール	内容
オリエンテーション	個別面接、グループ討論、小作文など志望大学に合わせた内容で行います。医学生との懇談も準備しています。
面接約15分、振り返り約15分 先駆医学生との懇談 約30分	

●申し込み・お問い合わせ● LINE(検索) HP

宮城民医連医療関係者連絡委員会
〒980-0801 仙台市青葉区本町1-1-18 田村ビル3階
TEL:022-252-2001 E-mail:info@miyagimiryu.or.jp
HP:高校生・予備校生向け企画のホームページは、LINEよりお申し込み下さい。